

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 千鳥会	代表者	吉村 秀樹	法人・事業所の特徴	「ぬくもり」の理念 <input checked="" type="checkbox"/> ぬくもりのあるサービスと <input checked="" type="checkbox"/> くつろげる雰囲気でもうひとつの我が家を <input checked="" type="checkbox"/> 利用者様と作っていきます をモットーに家庭的な雰囲気、暖かい人のぬくもりを感じて頂けるように支援しています。ご本人・家族の必要に応じ随時、通い・訪問・泊まりの3つのサービスを柔軟に提供し、できるだけ住み慣れた地域で安心して生活が続けられるように、又ご家族の介護負担が軽減されるように努めています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 ぬくもり	管理者	大谷 敏之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	2人	1人	1人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	6-②自治体や地域包括支援センターとの会議を行っていますか。	淡路市の「地域ケア会議」に定期的に参加して情報共有、連携している。	・自己評価では今後、職員に「あまりできていない」「ほとんどできていない」があれば、「なんとかできている」「よくできている」になるように取り組んでいただきたい。	
B. 事業所のしつらえ・環境	—	—	1. 「私の暮らし方シート」を活用し、利用者の情報を共有し、都度に情報を追加しながら支援に繋げているが、新規利用で利用開始時や、利用後間もない時期には、十分に把握できていない部分がある。	1. 「私の暮らし方シート」は、新規利用時に作り、職員間で情報共有していく。また、利用を重ねて内に新たに気づいて事を都度に追加し、職員間で共有していきながら支援に活かしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	—	—	新型コロナの感染予防の為、面会は制限されていた。 新型コロナ終息後は、再度、利用者、家族、地域の方々に気軽に入って頂ける環境を継続する。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	—	—	新型コロナの為、地域のイベント、行事も中止になり、感染予防の為、参加していなかった。 感染の終息後は、外出行事や、地域のイベント等に参加していきたい。	
E. 運営推進会議を活かした取組み	—	—	運営推進会議では、事業所の現状、課題や取組みを報告し、共有できるように取り組んでいる。会議の参加者メンバー	

			と課題等について相談できる関係性を重視していく。	
F. 事業所の 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画を運営推進会議で説明していく。 ・地域の防災訓練に参加については連携を図り、参加していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で消防訓練の報告や、施設内の消防施設について説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の防災計画をわからない意見あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画を運営推進会議で定期的に具体的に説明していく。 ・地域の防災訓練がある際には、参加していく。